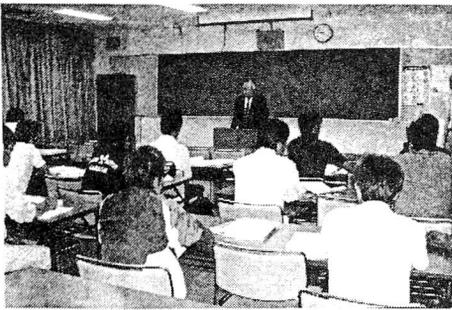




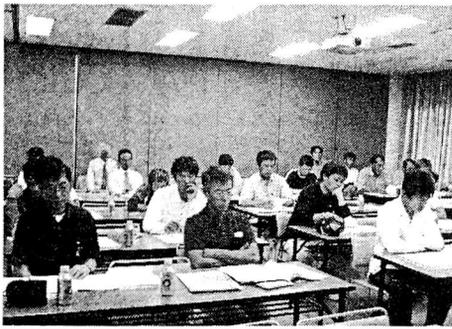
愛知県板金工業組合
発行 広報委員会
名古屋市昭和区北山町
3-8-6 〒466-0006
電話 052-732-1226

責任施工保証制度 資格取得講習会を実施

愛知県板金は責任施工・保証制度の資格を取得する為の講習会を9月27・28日の二日間をかけて、岡崎技術工学院にて実施した。この企画運営は保証委員会が担当し、講師は技術研究委員会が務めた。県内から19名の受講者があり、ほとんどが後継者の若者



▶あいさつする齋藤理事長



▶講習会風景

であった。三年ぶりに実施する講習会であるので、もう少し多くの受講者を予定していた。カリキュラム通り二日間の講習が終了、西保保証委員長より受講者全員に修了証が手渡された。これにより、保証書を申請する資格が得られた。

ので、今後はそれぞれの事業所でこの資格を活かしてもらいたい。そして県板の保証事業がさらに進展する事を期待する。

講習カリキュラム

1日目

(1)開講の挨拶

(2)責任保証制度

(3)金属屋根施工法

(4)金属外装施工法

(5)シーリングの施工等

(6)2日目

(1)風荷重について

(2)建築板金施工法

(用語の解説)

(3)銅板屋根の諸特性

(4)雨樋施工法

(5)質疑応答

齊藤充昭理事長 10分

齊藤充昭理事長 150分

松代一郎講師

補助 二村 勝

渡辺和弘講師

補助 平松賢治

高柳一男講師 90分

石原晴久講師

補助 波多野丞児

石原晴久講師 60分

補助 赤池高義

神谷 聡講師

補助 片山雅博

西保保証委員長

松代技研委員長

全板愛知大会

ロゴマークについて

全板愛知大会は、愛知万博の年に開催するべくその時期を合わせました。それは、万博を通じて全国の板金業者が愛知に目を向けてくれるという期待があるからです。その万博のテーマは「自然の叡智」。かけがえない地球を、今の環境から将来に向けて、どうやって守っていったら良いかを問うものであります。

か、又、仕事の中にどの様に取り入れていけるのか考えてみようではありませんか。10月にこのロゴマークのステッカーを組合員の皆さんに配布いたします。このステッカーを何処に貼ればいいのか、効果が出るにはどうしたらいいのか考えて下さい。携帯電話に貼る、車のウィンドウに

貼る、封筒に貼る。思いつく事は何でもしてみして下さい。そしてその時「愛・地球博」と建築板金について考えてみましょう。

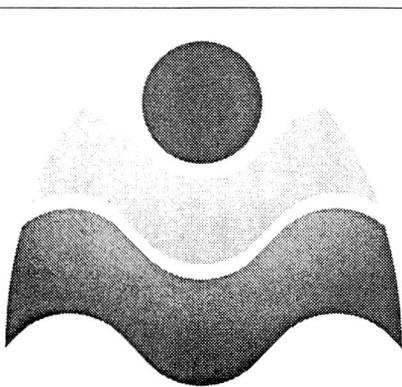
そして、全国からの同業者の仲間を迎えるべく、05年5月に向けて、愛知県板のみなさんは、このロゴマークを機会に大きな目標をつかんで下さい。



05全板愛知大会

ロゴマーク

上段【赤】は太陽、中段【緑】は風、下段【青】は水を表す。



2005 愛知

全国建築板金業者大会

太陽・空気・水を表わしたこのロゴマークは、まさにテーマと合致し、躍動感のある形と明るい色彩は、板金業界の未来を象徴しているのではないのでしょうか。

今後私たちは、建築板金の仕事を通じて、地球環境にどう貢献していけるか考えていくべきだと思います。そのきっかけを作ってくれるのがこのロゴマークです。太陽・空気・水にどう関わり合いができる

委員会報告

総務委員会

開催日時 9月3日午後3時
出席者 14名

(1)組合員名簿(更新)作成について

・広告について現在35社の協賛を得ている。5年前の更新時と比べると若干少ないので、未回答の社に再度依頼する。
・名簿表紙の色・デザイン等を決定した。
・名簿は50音順に掲載する。
・役員名簿、各委員会名簿の他に技能士会役員と全板大会実行委員会及び部会の名簿も掲載する。

(2)組合章マークについて
・現在のマークは印章を借用しているため改めたい。名簿発刊に間に合う様に全組合員から新しいマークを募集する。
(3)委員長会議の報告について
・8月21日開催された委員長会議の内容を報告。

(4)その他
・「責任施工保証制度」支部別集計表及び保証書発行

・「県板共済」の15年度加入状況の説明。

・「尾張名古屋の職人展」の概要を説明。

・16年新年懇親会は尾張ブロックが担当し、1月18日(日)「豊景閣」にて開催する。

・次回の総務委員会は10月23日(休)とする。

技術研究委員会

開催日時 9月8日午後3時
出席者 10名

(1)平成15年度保証制度「資格取得講習会」のカリキュラムについて
・カリキュラムに風荷重を追加する。
・委員は原則として全員参加する。

(2)視察研修について
・(有)建造の馬場喜郎氏宅(新城市)で視察研修を実施する。時期は11月中旬を予定する。

(3)その他
・県板共済未加入の委員に加入を促した。

・保証申請について、委員は年に1件以上必ず申請する事を申し合わせる。

・今後、講習会等の参加者申込書に「生年月日」欄を入れる事にする。

技能委員会

開催日時 9月9日午後3時
出席者 13名

(1)愛知県技能士会連合会功勞者表彰の推薦について
・表彰基準 5年以上会員の構成員で技能士の発展に功績のあった者。
・第53回愛知県職業能力開発促進大会の表彰候補者として4名を推薦した。

・技能士会功勞者推薦については、愛知県板金技能士会役員会が先日8月28日に正式に設置されたが、当分の間は当技能委員会が中心となり、技能士会と共同歩調をとりながら行っていく。

(2)あいち技能プラザ2003の開催について
・開催日 11月8(出)・9(日)日
・場所 吹上ホール
・搬入日 11月7日
・役割分担は昨年に準じて行う。

・技能士会役員は積極的に参加してもらう。

・製作指導担当者 銅板表札 今井委員

・レリーフ 佐藤担当役員

・鉢受皿 加納委員長

・今回新たに展示するものは、西三板金連合会青年部が製作した銅板、アルミ、真ちゅう製の折鶴と馬場喜郎氏製作の丸型銅壺一式。

・昨年と同じく出品料3万円と協賛金3万円を拠出する。

(3)技能士会連合会の研修会について

・視察先 国盛・酒の文化館・中部国際空港クルーズ等。
・4名の委員が参加する事となり、その参加費は県板で負担する。

(4)その他
・県板共済に未加入の委員に加入依頼。
・保証制度の保証申請を依頼。

・技能検定実技試験実施の反省。

経営研究委員会

開催日時 9月24日午後3時
出席者 7名

・今期の活動方針として、リフォームについての研究を

行っていく。それについて、まず委員がリフォーム相談員の研修会に参加して、今後の活動内容を決める事にした。

・日新工業㈱のルーフィングが全板連の指定商品に認定された事を受けて、愛知県板金において購入の斡旋をする予定となっているので、当委員会がその担当をする事とした。

厚生委員会

開催日時 9月18日午後3時
出席者 11名 欠席3名

(1)県板共済加入促進について
前回の委員会と同様に、このことを重点項目として審議した。

・県板共済制度が発足して以来加入率が減少していたが、本年9月の更新時点で初めて増加した。

・各委員会の委員については全員の加入を目標とする。

・県板全体の加入率は42%であるが、支部別に見てみると92%の支部から0%の支部まである。今後、加入率の低い支部の加入促進が大きな課題である。

・次回の委員会において各委員は促進結果を報告する。

(2)全国板金業国民年金基金への加入促進について

・加入対象者 板金業に従事している個人事業主、その配偶者、従業員で20才以上60才未満の方。

・掛金 選択する給付金の型、男女の別によって決まる。

・終身年金A型、B型の2種類から選択する。

・65才支給開始で生涯にわたって年金が受け取れる。

・現在、60才の満期到達者が多く、新規加入者が少ないので全体数が減少している。

(1)同基金より毎月、未加入者リストが送付されてくるので、これを元に加入促進をする。特に今回は該当する未加入者に委員が直接アタックし、その結果に期待を望みたい。

(3)全国板金業国民健康保険について
・当組合の構成員で他の国保の加入者がいれば全板国保への変更を依頼する。

・国保保険料の未納者に対し期日内納入を強く促す。

・国保保険料の未納者に対し期日内納入を強く促す。

黄綬褒章受章

山本清氏の祝賀会開かる

山本清氏が職業訓練の推進に尽力した功が認められ、今年4月に黄綬褒章を受章した。その祝賀会が9月21日に岡崎ニューグランドホテルにて開かれ220名が集った。

式典は岡崎板金工業組合長の高柳一男氏の開会の挨拶で始まり、この会の発起人を代表して内山英臣氏がユーモアをまじえて挨拶をした。その中で、山本氏の修業中の同僚であり良きライバルの石原鉄司氏が病氣療養中でありながら車椅子で出席してくれた事に感謝した。又、石原氏も以前に同様の受章をしており、兄弟弟子二人が受章する事は非常にめずらしいとも述べた。

そして受章の影には奥様の大きな協力があればこそという事で、この後の挨拶の中で、ぜひ奥様に感謝の言葉をかけたいと注文をつけた。



▶あいさつする山本清氏

続いて司会者より山本氏のプロフィールが紹介された。

S 11・5・22 岡崎市明大寺町に生まれる
S 27 中学校卒業し織田板金工作所に入社
S 35・5 独立し山本板金工作所を開設
H 3・1 山本清板金工業を設立し現在に至る

S 45 愛知県板金技能士会理事・技能検定員
S 50 職業訓練法人岡崎建設会 理事・講師
S 59 愛知県板金工業組合 常務理事
S 61 岡崎板金工業組合 組長

H 9・5 西三板金連合会 会長
H 15・4 岡崎技術工學院 理事
現在 岡崎技術工學院 学長

S 59・11 県知事表彰 優秀技能賞
H 4・11 県知事表彰 認定訓練功労
H 11・11 労働大臣表彰 卓越技能章
H 15・4・29 黄綬褒章受章



▶山本ご夫妻

祝辞として知事代理で産業労働部就業促進課長の土谷義春氏、県議会議員を代表して内田康宏氏、愛知県職業能力開発協会専務理事の牧野安光氏、そして岡崎市議会議員を代表して永田寛氏が祝の言葉を述べた。

続いて花束と記念品の贈呈があり、岡崎板金工業組合からの記念品は同組合員の山内和夫氏が製作した銅板製の夫婦の折鶴であった。

式典の最後に山本氏よりお礼の挨拶があり、発起人の注文通り、一緒に壇上に登った奥様に向かって「オカアサン

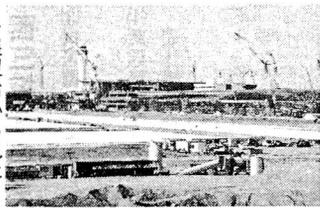
名古屋板金連合会 その後のセントレア

夏が一ヶ月遅れて来た様な残暑が続く9月14日(日)、昨年に続き名古屋板金連合会は「中部国際空港(セントレア)」見学会を開催した。

ありがとう」と声をかけ、ほほえましい挨拶となった。この後、休憩をはさんで尺八と琴のすばらしい演奏があった。尺八は愛知県職業能力開発協会副会長で都山流大師範の小嶋舟山氏、琴は生田流師範の大久保純子氏であった。

高橋

午前8時30分、名駅「メディアアワン」に集合し、名古屋高速から知多半島道路で半田に向かった。空港島内見学パスの時間(3時30分予定)の都合で、最初の見学場所のミツカン 酢本社「酢の里」に10時半頃到着した。駐車場に降りた途端酢の甘ずっぱい香りがしてきた。黒い瓦屋根、黒い板壁、昔ながらの趣を残した工場に囲まれた



▶展望台から見たターミナルビル



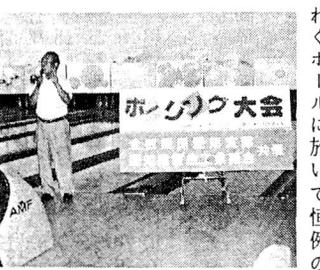
▶参加者

中に博物館「酢の里」が造られていた。まず、ホールにおいて会社の歴史(創業200年)と商品紹介、酢の持つ効能などを映像を交えた説明で聞き、工場内を見学した。

昼近く、酢の里を後にし半田市内の和食処「華眺」で昼食後、常滑に向かった。途中、ごん狐の童話でおなじみの「新美南吉記念館」に立ち寄り、若くして亡くなった新美正八(享年29才、没後60年)の生涯にふれる事が出来た。

3時前に「セントレア館情報コーナー」に到着し、ホールで工事の進み具合や空港の概要の説明を聞いた。予定より少し早く専用バスに乗り連絡橋を渡り空港島に入った。

前日、海上からの見学時は、土木重機が乱立し、埋め立て



▶平野克彦会長あいさつ

尾張板金連合会ボーリング大会

9月14日(日)、豊山町のわくわくボールに於いて恒例の

最終段階だったが、今は管制塔や幾つかの付帯建屋も完成してターミナルビル本館と国際・国内線ウイングの外装工事が真々盛りであった。空港島南端の仮設展望台から見渡し、改めて島の広大さを実感した。滑走路は、ほぼ出来上がっている様に見えた。その滑走路の上を走って島内を一周しセントレア館に戻った。

これまでの工事は、各スタッフの努力により順調で、工期短縮とコストの削減に成功した。これまでに無かった巨大プロジェクトの二本となるのではないだろうか。

「見学証明書」なるものを各自にもらって帰路につき、ほぼ予定通り、名駅西口に着いた。(参加者40名)

熱田・南 伊藤

ボーリング大会が開催された。名が参加し午前10時より尾張板金連合会会長 平野克彦氏の力強い挨拶の後、佐藤忠雄氏の始球式によって一斉にスコアボードがつき、ゲームがスタートした。2ゲームのトータルで順位を争い、11時30分にゲームが終了した。

ミーティングルームで表彰式を行い、特別賞(飛賞)及

3頁よりつづき
び全員に参加賞が手渡され、組合員と共に親睦を深め、楽しく過ごす事が出来た。午後12時30分に解散。

男性の部

- 優勝 今井利明
- 二位 河野雄治
- 三位 加藤昭二

女性の部

- 優勝 今枝由美子
- 二位 小坂裕子
- 三位 島山美恵子

団体の部

- 優勝 西春
- 二位 一宮
- 三位 津島

江南 石井



▶ ボーリングを楽しむ組合員や家族のみなさん

勉強会を開催

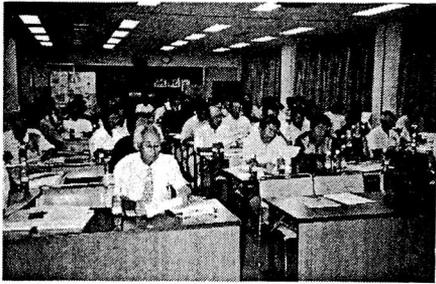
西三板金連合会

西三板金連合会は15年度の主要な事業として勉強会を開催した。9月6日(土)午前9時45分より岡崎技術工学院にて開催し78名が受講した。

まず西保章会長の開会の挨拶に続き、高柳一男県板副理事長が挨拶した。そして今回の協賛会社である(株)富士商店の瀬戸社長の挨拶があり講義に入った。

勉強会の内容は次の通りであった。

- (1)講演 「安全に対して真剣に考える」
和出重広氏(近藤組安全管理課長)
- (2)大同オペロン商品説明
「銅板屋根材の新しい概念」日鉄銅板(株)



▶ 勉強会風景

- (3)携帯電話を上手に使う方法
N T T ドコモ東海
- (4)新建築基準法上での防火構造仕様について
アイジー工業(株)
- (5)シーリング・充填材・接着剤の正しい使い方
セメダイン(株)
- (6)雨水の利用
水たまくん

- 三井商会(株)
- レインバンク・レインジャー
- (株)タニタハウジック
- ウェア

この様に盛りだくさんのテーマであったので、広く浅い内容となった。しかし、受講者各自には何か一つ位は得るものがあつたのではないだろうか。勉強会の終了後、この会についてアンケートを全員からとつたので、その結果を次年度の参考にしたい。

9月各支部の動き

- 名古屋板金連合会
14日 中部国際空港、他見学会
- 千種支部
24日 支部会 2名
・尾張名古屋の職人展について、他
- 東北支部
21日・22日 研修親睦旅行

- 伊豆伊東温泉 20名
- 中村支部
24日 定例会 10名
・責任施工保証制度について、他

- 中支部
6日 月例会 5名

- 昭和支部
8日 支部会 12名
- 28日・29日 研修親睦旅行
- ・岡山湯郷温泉、セキスイ工場見学、他

- 瑞穂支部
1日 定例支部会 18名
- 熱田・南支部
18日 定例会
- 28日・29日 研修親睦旅行
- (昭和支部合同)

- 尾張板金連合会
14日 第12回ボーリング大会 130名

- 一宮支部
18日 役員会 13名
- ・今後の支部活動について、他

- 春日井支部
22日 青年部定例会
- ・セキスイシーリング説明会

- 津島支部
5名 定例会 8名

- 犬山支部
15日 例会 10名

- 江南支部
15日 定例会 5名

- 西三板金連合会
6日 勉強会 78名
- 18日 三役会 10名
- ・総会打合せ

- 岡崎支部
4日 役員会 21名
- ・県板、連合会、青年部等の報告
- ・50周年記念事業について

- 碧南支部
22日 集団検診 18名

- 豊田支部
13日 第6回役員班長会 18名
- ・各種報告

- 西尾支部
15日 役員会 15名
- ・万博前売券について他

- 知多支部
13日・15日 青年部アーク溶接講習
- 28日 青年部イリノ小牧工場見学会

- 東三支部
6日 定例会 23名
- 17日 青年部定例会 8名
- 21日 青年部イリノ工場見学会
- 26日 三役会 6名

編集後記

9月22日、碧南支部恒例の行事で集団検診があり、私も受診した。前日は山本氏の祝賀会に出席し、宴席では酒の量をひかえた。いつもなら2次会の旗を振っている私だが、この日だけは支部の仲間3人と一緒に駅へ直行した。しかし、誰言うともなく「こんなに早く帰ると、おかあさんが心配するぞ」という訳で地元で軽く一杯やる事になった。店に入ったら、仲間の一人の友人達が盛り上がり過ぎており、我々もそれに引きずり込まれてしまった。気がついた時には、4人でボトル1本が空になり、時計も10時をまわっていた。明朝の胃のレントゲン検査と血液検査に影響がないか心配だ。

検診の間診で医師曰く「血圧が少し低めですネ。この方がいいですよ、心電図も正常だし、大病した事無いでしょ。あなたみたいになしひ弱に見える人は長生きしますよ。ガンになったり、事故に会わなければネ」。医師の言う事を信じたい。

「全板大会の思い出」など、皆さんからの寄稿を待っています。写真も送って下さい。

広報委員会

九月二十九日 快晴
三三七号 編集会議
広報委員 六名出席
午後五時二十五分閉会

高橋